

現代語訳 南海寄帰内法伝

—七世紀インド仏教僧伽の日常生活

きんじょう みやばやしししょうげん かとう えいじ
義浄撰、宮林昭彦・加藤栄司訳

▼文庫判・並製カバー・800頁
定価 二、七五〇円

7世紀のインドの僧侶は何を食べ、
どんな生活をしていたのか。唐の僧・
義浄がインドと中国の戒律を比較し
て記した第一級のインド留学レポ。

2022年11月刊行



【目次】

義浄三蔵入竺求法行歴図／写真 ナーランダー僧院遺跡／凡例

巻第一

序章 「仏教通史—宇宙開闢から唐代まで」／第一章 破夏非小「夏安居—雨期三ヶ月の合宿を破つても僧伽内の地位の降下はない」／第二章 対尊の儀「尊像・尊者・に対するきまり」／第三章 食座小床「食事は小さな椅子に腰掛けてとる」／第四章 餐分淨触「食事には淨・不淨区別の原則がある」／第五章 食罷去穢「食後に穢(けが)れを去(と)る」／第六章 水有二瓶「淨と不淨の二種類の水がある」／第七章 晨旦觀虫「朝、水中の虫を觀察する」／第八章 朝嚼齒木「朝には齒磨きをする」／第九章 受齋軌則「お齋(とき)のきまり」

巻第二

第十章 衣食所須「衣服のきまり」／第十一章 著衣法式「衣の著方のきまり」／第十二章 尼衣喪制「苧芻(びっしゆ)の衣と葬送の法」／第十三章 結淨地法「淨地の結界方法」／第十四章 五衆安居「夏安居の實際」／第十五章 随意成規「随意に自恣—夏安居反省大会の實際」／第十六章 匙筋合不「匙と箸」／第十七章 知時而礼「礼敬の方法」／第十八章 便利之事「トイレのきまり」

巻第三

第十九章 受戒軌則「受戒式の實際」／第二十章 洗浴隨時「洗浴の方法」／第二十一章 座具襯身「座(臥)具は夢精除けシート」／第二十二章 臥息方法「寝具と尊像安置のきまり」／第二十三章 経行少病「腹ごなし慢ろ歩き健康法」／第二十四章 礼不相扶「挨拶の仕方」／第二十五章 師資之道「師弟の有り方」／第二十六章 客旧相遇「來訪苧芻(びっしゆ)への接待方法」／第二十七章 先体病原「インド医学総論—疾病構造論」／第二十八章 進薬方法「印・中の比較医学論」／第二十九章 除其弊業「中国の悪業への批判」／第三十章 旋右觀時「右繞・左繞論と時・非時論」

巻第四

第三十一章 灌沐尊儀「尊像の沐浴と香花の供養」／第三十二章 讚

◆訳者略歴

宮林昭彦(みやばやししょうげん)

一九三二年、長野県生まれ。一九五五年、大正大学大学院文学研究科仏教学専攻修士課程修了。一九七八年、大正大学教授。一九八五～六年、大正大学より海外研修を命じられる。南方上座部仏教の戒律実態調査のため、タイ国バンコク市トンブリのワット・パクナム・パーシーチャロアンにて出家・得度、短期間の僧伽出家生活を実修。一九九七年、大正大学人間学部部長を経て、二〇〇一年、大本山光明寺第百十二世法主就任。二〇一四年、遷化。

加藤栄司(かとう えいじ)

一九四八年、千葉県生まれ。一九八二年、大正大学大学院文学研究科宗教学専攻博士課程満期退学。一九八五年、前記タイ国バンコク市トンブリにての海外研修に同行。現在、公益財団法人中村元東方研究所専任研究員。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
法蔵館 定価 二、七五〇円	
義浄撰、宮林昭彦・加藤栄司訳	
現代語訳 南海寄帰内法伝	
—七世紀インド仏教僧伽の日常生活	
【法蔵館文庫】	
ISBN: 978-4-8318-2643-5 C0115	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

思想